

# 解説ハリストス教信仰 (III)

木村 真之介

2024.06.24

## 概要

祭・齋・所作・祈り・機密



ラドネジの聖セルギイ

# 目次

0.1	祭日 . . . . .	2
0.2	十二大祭 (固定祭日) . . . . .	3
0.3	十二大祭 (移動祭日) . . . . .	5
0.4	十二大祭以外の祭 . . . . .	6
0.5	断食の習慣 . . . . .	8
0.6	<small>ものいみ</small> 齋 の規定 . . . . .	9
0.7	教会での立ち振る舞い . . . . .	12
0.8	機密-ミステリオン . . . . .	16
0.9	覚えておきたい祈り . . . . .	24
0.10	おわりに . . . . .	27

## 0.1 祭日

パスハが最も重要で大きな祭です。パスハは主の復活を記憶する祭です。旧約の過越 (passover) は新約においては主の復活です。大きな教会では夜半から未明まで徹夜で祈祷します。パスハは毎年日付が変わります。観測上の春分ではなく暦上の春分の次の満月の次の日曜日と決まっています。次に十二大祭という 12 の大きな祭があります。十二大祭以外にも色々な祭があります。また、毎週日曜日も小さなパスハなので祭日です。

## 0.2 十二大祭 (固定祭日)

### 0.2.1 しょうしんじょたんじょうさい 生神女誕生祭

9月21日(ユリウス暦9月8日)

神の母マリヤ、生神女の誕生を記憶する祭です。

### 0.2.2 じゅうじかきよえいさい 十字架挙栄祭

9月27日(ユリウス暦9月14日)

イイスス・ハリストスが磔になった十字架を挙げたという故事に由来する祭です。4世紀の聖人、皇后聖エレナがゴルゴダに巡礼した際に天啓に導かれて聖なる十字架を発見し、十字架挙栄の記憶をする祭が行われるようになりました。その後7世紀初頭にローマ帝国がペルシアに侵略された時にこの十字架が略奪されました。しかし数十年後に奪い返し凱旋しました。この戦勝を記憶する意味でローマ帝国の重要な祭日となったという側面があります。しかし、ハリストティアニンにとっては勝利の印である主の十字架を挙げて伏拝することで神に栄光を帰するという大切な意味があります。

### 0.2.3 しょうしんじょしんどうさい 生神女進堂祭

12月4日(ユリウス暦11月21日)

神の母マリヤが幼少の頃に神殿に捧げられたことを記憶する祭です。

### 0.2.4 こうたんさい 降誕祭

1月7日(ユリウス暦12月25日)

イイスス・ハリストスの降誕を記憶する祭りです。約2000年前に、神の

母、処女マリヤから、イイススと呼ばれるハリストスが誕生したことを祝います。

### 0.2.5 しんげんさい 神現祭

1月19日（ユリウス暦1月6日）

救世主、神＝イイスス・ハリストスは、ぜんくじゅせん前駆授洗イオアンからイオルダン川にて洗礼を受けたことから洗礼祭とも言われます。イイススが洗礼を受け水から上がった時、天より「此は我の至愛の子、我が喜べる者なり」という神＝父の声が聞こえ、神＝聖神<sup>o</sup>が鳩のかたちで降ってきたこと（マトフェイ3:16-17）から至聖三者の現れ、すなわち神が人々の前に現れたことを記憶する祭です。

### 0.2.6 げいせつさい 迎接祭

2月15日（ユリウス暦2月2日）

主、神、救世主、イイスス・ハリストスは生後40日目に、イウデヤの伝統に則り、その父母に連れられて神殿に来られたことを記憶する祭です。このとき聖預言者シメオンによって抱かれたことをも記憶します。聖シメオンはこのとき次のような言葉を残しました。

「主宰よ、今爾の言に循ひて、爾の僕を釈し、安然として逝かしむ。蓋我が目は爾の救ひを見たり、爾が万民の前に備し者なり、是異邦人を照らす光、及び爾の民イスライリの榮なり」（ルカ2:29-32）。

### 0.2.7 しょうしんじょふくいんさい 生神女福音祭

4月7日（ユリウス暦3月25日）

イオシフの妻となることが決まっていた処女マリヤに神使首ガウリイルが現

れ「爾妊みて子を生まん」と神の子を孕むことを告げたことに対して、処女マリヤは「我は主の婢なり、爾の言の如く、我に成るべし」と従順に応えたことによって、神の子、救世主、イイスス・ハリストスをこの世に迎えることができたことから処女マリヤを神の母として記憶し讃栄讃美する祭です。(ルカ 28-38)

## 0.2.8 けんえいさい 顕栄祭

8月19日(ユリウス暦8月6日)

主の変容と栄光の現れを記憶する祭です。主、神、救世主、イイスス・ハリストスはその弟子の中から、ペトル、イアコフ、イオアンの三人を選び共にタボル山に登りました。そこで弟子たちはイイススの姿が限りなく聖なる光に包まれ変容した様子を目の当たりにします。そこにはイイススと語らうモイセイとイリヤを見ます。

## 0.2.9 しょうしんじょしゅうしんさい 生神女就寝祭

8月28日(ユリウス暦8月15日)

神の母の永眠を記憶する祭です。伝承によれば死んで三日目に柩を確かめると空であったことから、死んで三日目に復活して天に上げられたのだと伝えられています。神の母マリヤは自らの意思においては罪をおかさなかったもので終末を待たずに復活して天に上げられたのだと考えられています。

## 0.3 十二大祭(移動祭日)

### 0.3.1 せいしさい 聖枝祭

パスハの前週

主、神、救世主、イイスス・ハリストスのイエルサリム入城を記憶する祭

です。

### 0.3.2 <sup>しょうてんさい</sup> 升天祭

パスハから 40 日目の木曜日

復活した主、神、救世主イイスス・ハリストスが復活から 40 日目に弟子たちの見守る中で天に昇り父の右に座したことを記憶する祭です。

### 0.3.3 <sup>せいごじゅんさい</sup> 聖五旬祭

パスハから 50 日目

教会の生まれた日を記憶する祭です。ペンテコステともいいます。主イイススが天に昇った後、主イイススが弟子たちに約束していた者、聖神<sup>o</sup> が使徒たちに降り、使徒たちに宣教する能力を与えました。

## 0.4 十二大祭以外の祭

代表的なものを紹介します。

### 0.4.1 <sup>かつれい</sup> 主の割礼祭

1 月 14 日 (ユリウス暦 1 月 1 日)

主イイスス・ハリストスは、イウデヤの伝統に則り、生まれてから八日目に割礼を受けたことを記憶する大祭です。

### 0.4.2 亜使徒日本の大主教聖ニコライ祭

2 月 16 日 (ユリウス暦 2 月 3 日)

幕末から明治にかけて、日本にハリストス教を伝えたロシア人宣教師、亜使徒日本の大主教聖ニコライを記憶する祭です。



#### 0.4.3 ミラ・リキヤの大主教奇蹟者聖ニコライの不朽体遷移の祭まつり

5月22日（ユリウス暦5月9日）

4世紀の聖人、ミラ・リキヤの大主教、奇蹟者、聖ニコライの不朽体を1087年に現トルコのミラからイタリアのバリへ遷移したことを記憶する中祭です。

#### 0.4.4 前驅授洗イオアンの誕生祭ぜんくじゅせん たんじょうさい

7月7日（ユリウス暦6月25日）

主イイスス・ハリストスの降誕より半年前に生まれた前驅授洗イオアンの誕生を記憶する大祭です。

#### 0.4.5 聖使徒ペトル・パウエル祭

7月12日（ユリウス暦6月29日）

聖使徒ペトルおよびパウエルを記憶する中祭です。

#### 0.4.6 前驅授洗イオアン斬首祭ぜんくじゅせん ざんしゅさい

9月11日（ユリウス暦8月29日）

前驅授洗イオアンが斬首されたことを記憶する大祭です。

#### 0.4.7 ラドネジの聖セルギイ祭

10月8日（ユリウス暦9月26日）

14世紀ロシアのラドネジの聖人、修道士、聖セルギイを記憶する中祭です。ロシア最大の修道院セルギエフポサードの創始者で、ロシアを代表する聖人の一人です。

#### 0.4.8 しょうしんじょひごさい 生神女庇護祭

10月14日(ユリウス暦10月1日)

10世紀、コンスタンティノポリスにおいて、沿岸に近いブラケラナエ(Blakhernae)の教会で多くの人が祈っていた時、佯狂者ようきょうしゃ聖アンドレイと弟子のエピファニイは聖堂内の天井に現れた生神女の姿を目撃したという故事を記憶する大祭です。

#### 0.4.9 ミラ・リキヤの大主教奇蹟者聖ニコライ祭

12月19日(ユリウス暦12月6日)

4世紀の聖人。現トルコのリキヤ地方のミラの大主教、奇蹟者、聖ニコライを記憶する中祭です。聖ニコライは最も崇敬される聖人の一人です。公会議において単性論を唱えたアリウス主義への論駁を行うがその過程でアリウスの頬を打つといった暴行を行ったために大主教の座を追われるが後にニコライの正統性が認められ復権している。また、無罪の者を救い、犯罪の犠牲となった子供達を生き返らせ、貧しくて持参金が用意できず良い縁談に恵まれないある家の娘達の為に窓から金貨を投げ込み助けた。などといった伝承が残っています。

### 0.5 断食の習慣

ハリストス教ではものいみ齋ものいみ といって断食をします。毎週の水曜日と金曜日は肉を食べない日です。また毎年のパスハ(復活大祭)の前にはたくさん齋をします。厳格な修道院では、肉だけでなく、魚、たまご乳製品、油類を断ちます。なお、病気の人や妊娠中の人、子供、高齢者、旅行者は齋が免除されます。また、教会暦では不禁食期間という齋をしてはいけない期間というものが定められています。

## 0.6 <sup>ものいみ</sup> 齋の規定

祈祷の伴わない齋は悪いものです。悪魔的でさえあるでしょう。<sup>\*1</sup>規定どおりの齋を実践するのは非常に難しいので霊的指導者である司祭などにどのように齋を実践するか相談して決めるのがよいです。おそらく規定どおりの齋を実行するには修道院などで生活しない限り困難です。

### 0.6.1 齋のルール

1. 肉
2. 動物性食品 (チーズ、ミルク、バター、卵、ラード、脂肪)
3. 魚 (背骨のある魚)
4. 油 (オリーブ油) とワイン (すべてのアルコール類)
5. 食事の回数が制限される
6. 量に規定はない

つまり、パンと水、水と塩で料理された野菜、果物、木の実、蜂蜜といったものが許されます。<sup>\*2</sup>

#### 食品の種類

齋は単に食事を制限することではなく、まずは肉を断ちます。それができたら次に魚を断ちます。徐々に厳しく、たまご乳製品、酒、油を断ちます。厳格な齋では温かいお茶や油を使っていないスープ類も断ちます。食べることができるのは、穀物、野菜、果物、木の実、蜂蜜、塩、水などに限られます。

---

<sup>\*1</sup> カリストス・ウェア主教 論集 1 「私たちはどのように救われるのか」 他 2 編 「正教徒は聖書をどう読むべきか」、62 ページ。

<sup>\*2</sup> 「私たちはどのように救われるのか」 83 ページ。

## 水曜日と金曜日の齋

通常の水曜日と金曜日は厳しい齋が課せられます。水曜日はイウダの裏切りを記憶します。金曜日は主の十字架を記憶します。水曜日あるいは金曜日と祭日が重なると魚がゆるされることが多いです。

## おおものいみ 大齋

詳細は教会暦を確認する方が確実です。ここでは通年の慣習についての規定を説明します。聖大パスハの10週間前の税吏とファリセイの主日から大齋の準備が始まります。税吏とファリセイの主日に続く週は不禁食週間です。翌週の蕩子の主日に続く週で肉類を食い尽くします。大齋は聖大パスハの7週間前の乾酪の主日の翌日の月曜日から始まります。初日の月曜日は最も厳しい齋の日で、規定では完全な絶食つまり禁食をします。修道院などでは大齋初週の水曜日の先備聖体礼儀まで禁食する習慣もあります。原則として月曜日、水曜日、金曜日には厳しい齋が課せられ、火曜日と木曜日はやや軽減されます。スポタすなわち土曜日と主日すなわち日曜日は油が許されます。なお大齋期間中の主日は聖金ロイオアン聖体礼儀に替えて聖大ワシリイ聖体礼儀が執行されます。またラザリのスポタでは魚卵がゆるされ、生神女福音祭が大齋中に重なる場合と聖枝祭は魚がゆるされます。大齋はラザリのスポタの前日まで続きます。生神女福音祭と聖枝祭では聖金ロイオアン聖体礼儀が執行されます。

## 受難週間

聖枝祭を過ぎると受難週に入り、聖大月曜日から聖大水曜日まで厳しい齋が課されます。聖大木曜日に少し緩められますが、聖大金曜日は禁食です。聖大スポタでは厳しい齋を課されてから聖大パスハを迎えます。

## 五旬祭期

聖大パスハから聖五旬祭に至るまでの期間が五旬祭期です。パスハに続く一週間は光明週間です。光明週間は不禁食期間です。不禁食期間は齋をしてはいけない期間です。五旬祭期の水曜日と金曜日の齋は魚がゆるされます。

## 聖使徒の齋

聖五旬祭の翌週の衆聖人の主日の翌日の月曜日から 7 月 12 日のペトル・パウエル祭に至るまで続きます。パスハの日付によって長さの変わる齋です。

## 生神女就寝祭の齋

8 月 14 日から生神女就寝祭の前日の 8 月 27 日まで 2 週間続きます。

## 聖フィリップの齋

11 月 28 日から降誕祭の前日の 1 月 7 日まで 40 日間続きます。

## 0.6.2 齋に関する助言

ロシアでは風邪をひくと蜂蜜入りのホットミルクを飲む習慣がありました。ロシアのある修道院で、ある若い修道士が、齋中に風邪をひいてしまったので、齋中だけ蜂蜜入りのホットミルクを飲んで良いかを尋ねる手紙を母親に送りました。返事が来て読むと「齋を守れないなら死になさい」と書かれていました。この修道士はこの手紙を読んでハッとします。そして齋をしっかりと守ったそうです。この修道士は後に聖人となります。もちろん病気の人は齋を免除されるということは付け加えておきます。

## 0.7 教会での立ち振る舞い

主日等の祭日にありがちな所作、一連の流れなどについて案内します。祈りの言葉や動作についてはひとつの例なので絶対にこうしなければいけないというわけではありませんが、ひとつの目安として参考にしてください。

### 0.7.1 聖体礼儀に際して

#### 家を出る前

1. 聖体礼儀の前の晩に、暮の祈禱および領聖預備規定の晩禱を行わなければいけません。
2. また深夜0時を過ぎたら水を含む一切の飲食が禁止されます。<sup>\*3</sup>
3. 朝起きたら朝の祈禱と領聖預備規定の早禱をおこないます。

#### 家を出るとき

1. 時間に気をつけて聖体礼儀の始まる前、痛悔機密を受ける場合はその時間に間に合うように家を出ます。
2. 家を出るとき路に十字を画いて「主よ我をおよその悪より護り給へ」と祈ります。

#### 教会に着いたら

1. 教会に着いたら門前で三度、十字を画きながら小拝します。
2. 聖堂の扉の前で三度、十字を画きながら小拝します。
3. 聖堂に入ったらおそらく既に兄弟姉妹がいるであろうから、適宜挨拶をする。

---

<sup>\*3</sup> 薬を飲む場合など水を飲む必要がある場合は司祭に相談します。

4. 聖堂入り口付近では蠟燭を頒布しているはずだから所定の金額を献金し蠟燭を手にする。
5. もし記憶したい名前があれば「生者」「死者」それぞれ別の用紙があるから鉛筆でその記憶したい人の聖名を書き、所定の金額を献金して係りの者に渡す。(帰りに自分の分の記憶された聖パンを持ち帰る)
6. 聖堂中央のイコノスタスの前に安置されているイコンの前に進み三度十字を画きながら小拝する。それから側の燭台から蠟燭に火をとり、祈りを込めて、その蠟燭をその燭台に立てる。
7. 聖なる不朽体の前に進み、二度十字を画きつつ伏拝し、聖なる不朽体に接吻する。その後、一度十字を画きつつ伏拝する。
8. 聖なる十字架の前に進み三度十字を画きつつ伏拝する。

#### 痛悔機密を受ける場合

1. 痛悔機密を受ける場合は、痛悔の列に並び静かに待ちます。
2. 痛悔を待ちつつ第五十聖詠を黙誦もくしょうしながら痛悔の内容を考える。
3. 自分の順番が来たら後ろを振り向いて列に並んでいる人々にお辞儀をする。
4. 司祭の前に進み聖名を告げる。
5. 罪の告白をする。簡潔に、くどくど世間話などせず、\*4自分のおかした罪について告白する。
6. 告白が終わったら司祭の助言を受ける。助言はない場合もある。
7. 司祭がエピタラヒリを頭にかぶせるので跪く。
8. 罪の赦しの祈祷が詠まれる。終わったらアナロイ上の聖福音経と十字架に十字を画かいて伏拝ふくはいする。なお聖福音経には神のイコンが描かれている。

---

\*4 主日や土曜日の晩の徹夜禱の時間に痛悔を受ける場合は列に並んでいる人のことを考えて長々と喋らないように気をつけたい。しかし、個別対応で平日などに依頼する痛悔機密では、神に親しく語りかけることができるので、使い分けると良い。

9. 立ち上がって聖なる十字架と福音経に接吻する。
10. 司祭より祝福を受ける。このとき両手のひらを重ねて上に向ける。右手が上となる。司祭はその手の上に右手を置いて祝福する。
11. 司祭の右の手に接吻する。この際、手の甲よりは<sup>こて</sup>籠手に接吻する方が好ましい。
12. その場を離れる。

### 祈祷中

#### 祈祷中の注意事項。

1. 聖体礼儀中は自分の立ち位置を確保し、むやみに歩き回らない。
2. 基本的には立った姿勢で祈る。
3. 光栄「光栄は父と子と聖神<sup>°</sup>に帰す・・・」、天主経「天に在す・・・」で十字を画いて小拝する。
4. 聖三祝文「聖なる神、聖なる勇毅、聖なる常生の者や・・・」、「来たれ我等の王神に叩拝せん・・・」で十字を画いて叩拝する。
5. 燭儀の際、自分に向けられたらお辞儀する。
6. 基本的には「門、門、謹みて聴くべし」以降は聖堂への出入りはしない方が好ましい。
7. 聖変化の「爾の聖神<sup>°</sup>をもってこれを変化せよ。アミン、アミン、アミン」で伏拝<sup>ふくはい</sup>する。なお、日本ハリストス正教会では、主日でも伏拝する。<sup>\*5</sup>
8. 主教がいる場合、ディキリ、トリキリまたは十字架で衆に対して祝福を行うが、この時、自分の方に向かって祝福された時にお辞儀をする。

### 領聖する場合

---

<sup>\*5</sup> 本来なら主日には伏拝しない。日本では平日の祈祷が少ないため伏拝する機会がほとんどない。だから主日に伏拝することになっている。ただし五旬祭期を除く。今後変更される可能性はある。



領聖をする場合、次の要領で受ける。

1. 腕を胸の前で交差させて天使が翼を綴じて休んでいる姿のかたちをとる。左腕が胸側。右腕が外側。
2. 領聖の列に並ぶ
3. 十字を画いて聖体に伏拝する
4. ポティールを持っている司祭の前に進む。
5. 自分の聖名を告げる
6. 領聖する。口は大きく開ける。顔はやや上向きがよい。そうしないと聖体が落ちる事故につながる。(このとき跪かない。十字を画かない。余計な動作をしてはいけない)
7. ポティールの下部に接吻する。
8. その場を離れる。
9. 口すすぎのために聖体ではないアンティドルと呼ばれるパン、そしてぶどう酒を飲食する。必ず口の中に聖体を残さないように飲み込むこと。
10. 自分の立ち位置に戻る。
11. 「今もいつも世々に」で腕を解く。

聖堂を出るとき

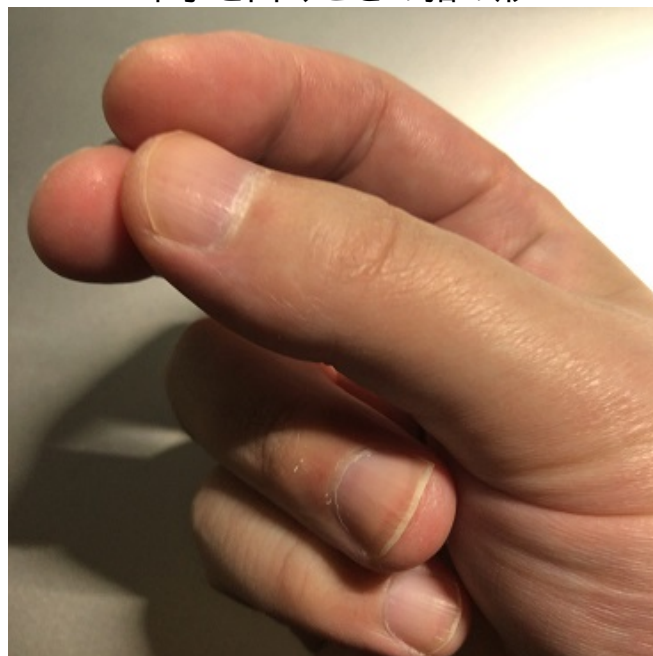
「平安にして出ずべし」の後。

1. 十字架接吻の列に並び、司祭の持つ十字架に接吻、可能であれば司祭の手に接吻する。
2. 聖体礼儀が終わったら聖堂に入ってきた時と同様に、聖堂中央のイコンと不朽体に接吻して聖堂を出る。
3. 出るとき出入口で東を向いて十字を画きつつ小拝すること三度。
4. 門のところで再び聖堂の方に向いて十字を画きつつ小拝すること三度。

## 5. 帰路につく。

十字の書き方を簡単に説明すると、右手を使い親指と人差し指と中指で摘むような形をつくります。この三本指が父と子と聖神<sup>°</sup>の一体にして分かれざる聖三者を意味します。そして薬指と小指をしっかりと折って手のひらに付ける形にします。これはハリストスの神性と人性を意味します。この指の形でもって額、腹、右肩、左肩の順番で十字を画きます。

十字を画くときの指の形



## 0.8 機密-ミステリオン

人間の側では知ることはできない<sup>おくみつ</sup>奥密な神の側からの<sup>おんちよう</sup>恩寵の働きと、人間の側の自由意志にもとづく神への働きかけの双方によって成立します。機密<sup>きみつ</sup>は洗礼<sup>せんれい</sup>機密<sup>きみつ</sup>を例外として全て<sup>せんれい</sup>洗礼を受けたハリストティアニン<sup>せいぎょうと</sup>（正教徒）のみ預かることができます。機密は大きく七つ定められていますが、元々は数は決まっておらず後代にスコラ学というローマ・カトリック教会で発達

した哲学の影響から七つに定めたのです。ここではこの七件機密を紹介します。

### 0.8.1 洗礼機密

洗礼機密せんれいきみつとは洗礼せんれいのことです。受洗者は聖洗礼儀せいせんれいぎによって洗礼を受けます。洗礼はいわばハリストティアノンとなるための入会の儀式です。それまでの人生でおかした全ての罪が赦されます。これは他者に強要されるのではなく自分自身の自由な意思にもとづいてハリストスを救い主、唯一の神、教会、復活、審判、そして永生を信じることに決めた人はニケア・コンスタンティノポリ信経を告白し悪魔と縁を切り洗礼機密を受けます。洗礼式の構成は、前半が悪魔払い、後半が洗礼です。通常、洗礼後に引き続き傅膏機密ふこうきみつを受けてから聖体礼儀に参拝し領聖し聖体機密に預かることで完全に成ります。つまり洗礼だけを受けて領聖しないで帰ってしまうのは良くないということです。

### 0.8.2 傅膏機密ふこう

聖膏せいこうを傅つける機密です。洗礼式の洗礼機密に引き続いて執行されます。特別に成聖された膏を用います。<sup>\*6</sup>この膏を洗礼後すぐに受洗者の身体のあちこちに傅けることでハリストスが使徒達に約束した聖神<sup>°</sup>、主、生命いのちを施す者を受けます。この聖神<sup>°</sup>を受けることがハリストティアノンにとって重要なことです。

---

<sup>\*6</sup> 聖大木曜日に総主教によって成聖された膏。

### 0.8.3 聖体機密

せいだいりれいぎ  
聖体礼儀において執行される機密です。最も重要な機密です。主イイス  
ス・ハリストス神の子の尊体尊血に聖変化したパンとぶどう酒を領聖するこ  
とで罪の赦しと永生を得ます。領聖する前日は夜半(0時)を過ぎたら水を  
含む一切の飲食物を完全に断つことが要求されます。ただし体調が優れない  
場合や決まった時刻に処方された薬を飲まなければならない場合などは司祭  
の祝福を得て水などを飲むことが可能です。

### 0.8.4 つうかい 痛悔機密

こっかいれいぎ  
告解礼儀において執行される機密です。洗礼後におかした罪を司祭の立会  
いのもと神の前に自分の口で告白することで罪の赦しを得ます。聖体礼儀で  
は、事前に、痛悔機密を受けてから領聖することが求められます。<sup>\*7</sup>

#### 罪のリスト

罪とは神に対して的外れな想いと行いの総称です。聖事経を参考に列挙し  
てみましょう。

---

<sup>\*7</sup> ギリシア系正教会においては聖体礼儀で領聖するまでに痛悔機密を受ける義務はなく、  
個別に信徒が必要と感じた場合に痛悔機密を申し込みます。領聖前に痛悔機密を求めら  
れるのはロシア系正教会の伝統です。日本ハリストス正教会はロシア系正教会なので領  
聖するには痛悔が求められます。

爲ナリ僞何事ヲカ我ニ隠サバ罪愈倍セン故ニ慎メヨ蓋爾  
 ハ醫院ニ來レリ恐クハ愈サレズシテ去ラン、  
 次ギテ司祭ハ一々詳ニ彼ニ詢ヒ其應答ヲ俟ツ、  
 先ヅ其如何ニ信ズルヲ問ヒテ曰ク、  
 子ヤ我ニ告グヨ爾ハ東方ニ樹エ及ビ成長セシメラレ東方  
 ヨリ全地ニ布カレ今ニ至ルマデ東方ニ搖カズ易ラズシテ  
 存立スル公使徒ノ教會ノ傳ヘ教フル如ク信ズルカ其傳  
 ル所ノ事ニ於テ或ハ疑ナキカ、  
 若正シク信ジテ疑フコトナケレバ信經我信ズ一ノ神父云  
 云ヲ誦スベシ第三十頁ニ見ユ  
 畢リテ後又之ニ問ヒテ曰ク、  
 子ヤ我ニ告グヨ爾ハ異端ニ從ヒ或ハ教ニ背クコトナカリ

シカ世ニ屬スル事物ヲ爾ノ造物主ニ越エテ愛スルコトナ  
 キカ心ヲ盡クシテ神ニ祈禱スルカ主日及ビ其他ノ祭日ヲ  
 守ルカ正教會ノ定ムル所ノ齋ヲ守ルカ聖書ヲ輕ンジ侮リ  
 シコトナキカ主神ノ名ヲ妄ニ用ヒシコトナキカ神ノ前ニ  
 立テシ誓約ヲ守ラザルコトナキカ誓ヲ發セシコトナキカ  
 若發セシコトアラバ自由ニ因ルカ脅迫セラルハニ因ルカ  
 妖術ヲ用ヒシコトナキカ邪法ヲ以テ人ヲ惱マシハコトナ  
 キカ呪禁ヲ爲シハコトナキカト占ヲ爲シハコトナキカ護  
 符等ヲ用フルコトナキカ、  
 子ヤ我ニ告グヨ爾ノ父母ニ對シテ不孝ノ罪ナキカ神品尊  
 長等ニ對シテ不敬ノ罪ナキカ、  
 高慢ノ罪ナキカ名譽ヲ食ル罪ナキカ、

殺人ニ關スル自由或ハ不自由ノ罪ナキカ人ト和睦セザル  
 コトナキカ若此アラバ直ニ和睦スベシ然ラザレバ神ハ爾  
 ノ祈禱禮物等ヲ受ケズ人ニ怒リ人ヲ罵リ人ヲ怨ム等ノ罪  
 ナキカ、  
 貞潔ニ悖ル念ヲ以テ心ヲ汗シハコトナキカ或ハ其所行ヲ  
 以テ己ヲ汗シハコトナキカ邪淫姦淫及ビ之ニ關スル諸ノ  
 不潔ノ行ナキカ、  
 食ヲ節セザルコトナキカ酒ヲ嗜ムコトナキカ或ハ醉ヘル  
 コトナキカ懶惰ノ罪ナキカ業務ヲ怠リシコトナキカ、  
 物ヲ竊ム罪ナキカ他人ノ竊ミタル物ヲ受ケシコトナキカ  
 若竊ミシコトアラバ必之ヲ還スベシ商業上人ヲ欺キシコ  
 トナキカ若之アラバ必償フベシ貪ノ罪ナキカ、

妄證セシコトナキカ人ヲ讒言シ或ハ誦ル罪ナキカ爲ノ罪  
 ナキカ、  
 人ヲ猜ミ人ヲ羨ムコトナキカ、  
 凡ノ死罪即驕傲貪吝邪淫嫉妬變態忿怒怠惰并ニ此ノ七母  
 罪ヨリ生ズル諸罪ヲ屢指シ人品ノ差異ヲ觀察シ彼此斟酌  
 シテ男女老少教衆俗人等各其類ヲ分チテ詳ニ詢フベシ、  
 教戒  
 爾今ヨリ一切此ヲ慎ムベシハリストスノ教會ノ機密ヲ以  
 テ第二ノ洗ヲ傾クルガ故ナリ爾ハ是ヨリ神ノ助ニ因リテ  
 善キ始ヲ立テヨ痛解ヲ輕ンジテ前ノ罪ニ還ルガ如キ辱ヲ  
 承クル勿レ是レハリストスアニンニ適ハズ願クハ神ハ其恩  
 寵ヲ以テ爾ガ尊ク義ニ合ヒ敬虔ニシテ度生スルヲ助ケン、

参考: 国立国会図書館デジタルコレクション 聖事経 - 告解礼儀  
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824745/44>

この聖事経の画像は読みにくいので次のように書き換えました。参考にしてください。

異端に従うこと、教会の教えに背くこと、世に属する事物を造物主に越えて愛すること、心を尽くして神に祈祷しない、主日および他の祭日を守らない、正教会の定むるところの齋を守らない、聖書を軽んじ侮ること、主、神の名を妄りに用いること、神の前に立てた誓約を守らない、自らの自由で或いは脅迫されて誓いを立てること、妖術を用いる、邪法で人を悩ませる、呪禁、<sup>まじない</sup> 卜占、<sup>うらない</sup> 護符等を用いること、父母に対して不孝なこと、神品、尊長等に対して不敬なこと、高慢、名譽を貪る、自由或いは不自由において人殺しに関わること、人と和睦しないこと、和睦しなければ神はその祈祷礼物等を受け取らない、人に怒り、人を罵り、人を恨むこと、貞潔に悖る念を以って心をけがすこと、所行を以って己をけがすこと、邪淫、<sup>じゃいん</sup> 姦淫、<sup>かんいん</sup> 及びこれに関する諸々の不潔の行い、食を節せざること、酒を嗜むこと、酔うこと、<sup>らんだ</sup> 懶惰\*<sup>8</sup>、業務を怠ること、物を盗む、他人の盗んだ物を受け取る、もし盗んだなら必ず返すこと、商業上人を欺く、もしあれば必ず償うこと、妄証すること、人を讒言\*<sup>9</sup>すること、誑ること、<sup>せめ</sup> 譎ること、<sup>いつわ</sup> 人を猜み、人を羨むこと、<sup>そね</sup> (驕傲、<sup>きょうごう</sup> 貪吝、<sup>たんりん</sup> 邪淫、<sup>じゃいん</sup> 嫉妬、<sup>しつと</sup> 饕餮、<sup>とうてつ</sup> 忿怒、<sup>ふんど</sup> 怠惰、この七母罪より生ずる諸罪を歴指し人品の差異を觀察し、彼此斟酌して、男女、老少、教衆、俗人等、その類を分けて詳らかに詢うこと、)\*<sup>10</sup>

\*<sup>8</sup> 怠けること。

\*<sup>9</sup> ある人について、ありもしないことや偽りの証言をして、その人を陥れること。

\*<sup>10</sup> なお、<sup>たんりん</sup> 貪吝とは欲が深くケチなこと、<sup>とうてつ</sup> 饕餮とは中国神話の怪物ですが「饕」が財産を貪ること「餮」が飲食を貪ること、「歴指」はいちいちはっきり指し示すこと、「斟酌」は

痛悔機密は第二の洗礼とも言われます。痛悔機密によっておかした罪を赦された後は、神の助けによって、善き始めを立てることが求められます。痛悔を軽んじて先の罪に還るような辱を受けないようにしなさい、これはハリステアニンにふさわしくありません、願くは神はその恩寵を以って、爾が尊く、義に合い、敬虔に生を<sup>わたる</sup>度ことを助けるでしょう。

以上が聖事経の痛悔機密の部分を抜粋要約したものです。

### 0.8.5 <sup>こんぱい</sup>婚配機密

いわゆる結婚のことです。<sup>へいていしき</sup>俾定式において指輪の交換を行い、次に戴冠礼儀で冠を戴き、聖体に代えてぶどう酒を新郎新婦が交互に飲み交わす三三九度の礼<sup>\*11</sup>を行い完成します。この機密は新郎新婦両方が正教会（オーソドックス）の信者である必要があります。この機密には新しい家族の誕生という意味があり、お互いに愛を伴う自由な意志によって結婚を決意し婚配機密に臨みます。旧約と新約から結婚に関わる複数の箇所が誦経されます。また、新たな夫婦がきよく幸福で子々孫々に至るまで祝福されるように祈祷文が読まれます。

### 0.8.6 <sup>せいふ</sup>聖傳機密

病者平癒のために執行される機密です。病気のハリステアニンの身体に聖油を傳けることで病の平癒を祈祷します。

### 0.8.7 <sup>しんびん</sup>神品機密

神品すなわち<sup>しゅきょう</sup>主教、<sup>ほさい</sup>輔祭、<sup>しさい</sup>司祭をつくる機密です。主教のみが執行できます。神品を志す者は、通常、所定の神学校を卒業した者から選ばれます。

---

相手の事情や心情をくみとり、手加減することを意味します。

<sup>\*11</sup> 理由はわかりませんが三々九度は神道と共通した習慣です。

そして神品機密は神品となる者の頭に主教が手を置く儀礼を行うことで執行されます。まだ神品となっていない者は、まず輔祭となります。聖体礼儀の領聖の前に神品機密を受けます。このとき「イサイヤ祝えよ」が歌われ「アクシオス」の掛け声と共に輔祭の装備品を主教から受け取ります。輔祭はこの後、領聖等の儀礼の執行を輔<sup>たすけ</sup>ます。また、輔祭となった者の中から司祭が選ばれます。聖体礼儀中の聖変化の前に神品機密を受けます。輔祭同様に「イサイヤ祝えよ」が歌われ「アクシオス」の掛け声と共に輔祭は主教から司祭の装備品を受け取ります。新たに司祭となった者は聖体礼儀において最も重要な場面である聖変化を執行します。主教は修道司祭の中から選ばれひとりの主教をつくるには既に主教になっている者が三人必要で、この主教達によって新たに主教になる者を主教座に座させます。この座らせる動作を三回繰り返すことで聖使徒の後継者である主教がつくられます。

## 主教

主教とはイイスス・ハリストスの弟子である聖使徒達の後継者です。主教の役割は、牧会、教導、奉神礼を司ることです。また信徒の中から輔祭と司祭を任命して各種祈禱を執行させる責任があります。主教の権限は主教区と呼ばれる範囲内に限定され、他の主教の管区に対して権威を及ぼすことはできません。主教には序列があります。すなわち総主教、府主教、大主教、主教です。<sup>\*12</sup>

総主教は独立教会の長で以下の府主教区、大主教区、主教区の全てを管轄する最も責任の重い主教品です。府主教は<sup>メトロポリタン</sup>大都市を中心とした教区の長、そして大主教、主教とタイトルが小さくなるにつれて管轄が小さくなる傾向にあります。ロシア正教会ではモスクワの総主教が全ルーシーを管轄します。日本はモスクワの総主教庁の傘下にあり、日本の府主教は日本だけを

---

<sup>\*12</sup> ギリシア系正教会では序列が異なり大主教の方が府主教よりも序列が上になります。



管轄します。仙台の大主教は東日本を管轄します。<sup>\*13</sup> 各種教区は独立性があり、主教は自分の主教区のみを管轄します。他の主教区に対しては権威を振るうことはできません。付録に独立教会の一覧を用意しました。

## 司祭

主教によって任命される者です。主教に代わり、パンを裂く儀式すなわち聖体礼儀、その他、諸々の祈祷儀礼を執行します。

## 輔祭

輔祭は主教によって任命されます。輔祭は聖体礼儀など、各種祈祷を輔<sup>たす</sup>けます。聖書にも記載がありますが、歴史的には司祭よりも輔祭の方が先に登場します。

## 0.8.8 その他機密に準ずるもの

七件機密に含まれなかった祈祷には機密の性質が全く無いのでしょうか。例えば埋葬式は機密ではないが神の恩寵が働かないのかという疑問が湧いてきます。ある修道司祭は修道士となるための修道誓願の儀礼は機密となっ<sup>た</sup>てはないが婚配機密同様に機密に準ずるものとして理解する方がよいと解説をしていました。

---

<sup>\*13</sup> 2019年8月現在、仙台の大主教は東京の副主教を兼ねるようになったので注意。

## 0.9 覚えておきたい祈り

ここでは大切な暗唱できるようにした方がよい祈りの言葉を紹介します。

### 0.9.1 天主経

一番大切なお祈りは「天にいます」ではじまる次のお祈りです。聖堂の外でも、たとえば食事の前などに、となえます。

「天にいます我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の国は来たり、爾の旨は天に行われるるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に与え給え、我等に債あるものを我等赦すが如く、我等の債を赦し給え、我等を誘いに導かず、なお我等を凶悪より救い給え。蓋し、国と権能と光栄は、爾に世々に帰す。アミン」

これはマトフェイ伝 (5:9-13) においてイイスス・ハリストスご自身が、このように祈れ、「是くの如く禱れ」と直接に命じた祈りでもあり非常に重要で頻繁にとなえられる祈りです。

### 0.9.2 税吏の祈禱

「神よ、我罪人を憐れみ給へ。」

税吏とは、税金を取り立てる人でした。イウデヤ人たちからは軽蔑される職業でした。

一方、税吏と対照的だったのはファリセイでした。ファリセイは律法をよく守り人々から尊敬される立場でした。しかし、税吏とファリセイが神殿で祈るとき、ファリセイではなく、この税吏の祈禱こそ義と認められるとイイススは教えました。

聖書を引用しましょう。

『自分を義人だと自任して他人を見下げている人たちに対して、イエスはまたこの譬をお話しになった。「ふたりの人が祈るために宮に上った。そのひとりパリサイ人であり、もうひとり取税人であった。パリサイ人は立って、ひとりでこう祈った、『神よ、わたしはほかの人たちのような貪欲な者、不正な者、姦淫をする者ではなく、また、この取税人のような人間でもないことを感謝します。わたしは一週に二度断食しており、全収入の十分の一をささげています』。ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天にむけようとしないうで、胸を打ちながら言った、『神様、罪人のわたしをおゆるしてください』と。あなたがたに言う。神に義とされて自分の家に帰ったのは、この取税人であって、あのパリサイ人ではなかった。おおよそ、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるであろう』。』  
ルカによる福音書 18:9-14 JA1955

### 正教会訳

『又また己おのれを義ぎなりと信しんじて、他人たにんを藐あなどる者ものに、此この譬たとへを語かたれり。  
二人ににん祈きたふ禱ためせん為ために殿でんに登のぼれり、一ひとりはファリセイ、一ひとりは税吏ぜいりなり。  
ファリセイた立ちて、己おのれの衷うちに斯かく禱いのれり、神かみよ、我爾われなんぢに感謝かんしゃす我われ  
他人たにんの残酷ざんこく、不義ふぎ、姦淫かんいんなる如ごとく、或あるひは此この税吏ぜいりの如ごとくならざるを  
以もつてなり。我われ一七日ひとなぬかに、二次ふたたび齋ものいみし、凡およそ得うる所ところの十分じふぶんの一いつを献ささぐ  
と。税吏ぜいりは遠とほく立ちて、敢たて目あへを挙めげて天あを仰てんがず、乃あふ鷹すなはちむねを拊うちて  
曰いへり、神かみよ、我罪人われざいにんを憐あわれめと。我爾等われなんぢらに語つぐ、此この人は彼ひとの人かより  
は義ぎとせられて、家いへに帰かへれり。蓋けだし凡およそ自みづから高たかくする者ものは卑ひくくせら  
れ、自みづから卑ひくくする者ものは高たかくせられん。』

この税吏の胸を打つ動作は、私はもう駄目だというジェスチャーでした。つまり完全に自分が打ち砕かれた状態ということです。

### 0.9.3 イイスス経

「イイススの祈り」ともいいます。

「主、イイスス・ハリストス神の子や、我罪人を憐れみ給へ。」

これは「税吏の祈祷」を発展させたものとみなせませんが、14世紀の聖人グレゴリイ・パラマによれば、この祈祷を常に繰り返す訓練を積むことで神の光を見ることができると伝えられています。

### 0.9.4 天の王

聖神<sup>o</sup>のための祈祷です。様々な祈祷の最初にとなえられます。

「てん おうなぐさ 天の王慰ものむる者や、しんじつ しん あ 眞実の神、ところ 在らざるもの 処なき者、み 満たざるところ 処なき者や、もの ばんぜん ほうぞう 万善の宝蔵なる者、もの せいめい たも 生命を給うの主や、しゅ き われら 来たりて我等のうちにおり、われら もるもる けが 我等を諸々の穢れよりいさぎよ 潔くせよ、しぜんしゃ われら たましい 至善者や我等の霊すく たまを救い給へ。」

### 0.9.5 常にさいわい

神の母マリヤのための祈祷です。様々な祈祷の最後にとなえられます。

「つね さいわい 常に福にして全くまった きず 瑕なき生神女、しょうしんぢよ わがかみ はは なんぢ 我神の母なる爾をさいわいなりととの まこと あた 称うるは誠まことに当れり、とうと ヘルヴィムより尊くセラフィムに並びなくなら さか みさお 栄へ、さか 操やぶを破らずして神言葉を生みし、かみことば う 実の生神女たる爾じつ しょうしんぢよ なんぢ あが ほを崇め讃む。」

### 0.9.6 聖エフレムの祝文

『しゅ わ いのち しゅさい 主吾が生命の主宰よ、おこたり もだえ 怠惰と愁悶としのぎ むだごと 凌駕と空談の情を吾に与うる勿れ。

(大拝一次)

みさお へりくだり 貞操と謙遜とこらえ あい 忍耐と愛の情を我爾の僕われなんじ(婢)に与え給え。あた たま (大拝一次)

あ あしゅおう 嗚呼主王よ、われ わ つみ み 我に我が罪を見、わ けいてい 我が兄弟を議せざるを賜え、ぎ たま 蓋爾は世世けだしなんじ よよ

あが ほ  
に崇め讃めらる。「アミン」(大拝一次)

(又小拝すること十二次毎次誦して曰く)

かみ われざいにん きよ たま  
神よ、我罪人を浄め給え。

(後再び全文を誦す)

しゅわ いのち しゅさい おこたり もだえ しのぎ むだごと こころ われ あた なか みさお  
主吾が生命の主宰よ、怠惰と愁悶と凌駕と空談の情を吾に与うる勿れ。貞操  
へりくだり こらえ あい こころ われなんじ ぼく ひ あた たま ああしゅおう われ わ  
と謙遜と忍耐と愛の情を我爾の僕(婢)に与え給え。嗚呼主王よ、我に我  
つみ み わ けいてい ぎ たま けだしなんじ よよ あが ほ  
が罪を見、我が兄弟を議せざるを賜え、蓋爾は世世に崇め讃めらる。「ア  
ミン」』

## 0.10 おわりに

### 0.10.1 編集履歴

解説ハリストス教信仰 (III)

v1.0 . . . 2023.08.26

v1.1 . . . 2024.02.08

v2.0 . . . 2024.06.24

この文書の最新版は下記 URL を参照してください。

<https://orthodox.jp/eks/>

### 0.10.2 製作・著作

エフレム木村真之介 (E.Kimura.S)

連絡先

X(Twitter): @shin314159

e-mail: shin314@gmail.com